

【美術】

～ClassPad.net の各種ふせんを活用する～

〔2 授業目／全 3 授業〕 お菓子のパッケージデザインを題材に、
魅力的な創意工夫について考える授業

お菓子のパッケージ鑑賞のみならず、自らお菓子の商品企画とパッケージデザインに挑戦する。

【本授業の目的・狙い・到達目標】

教師向けの目標：生徒が暮らす地域の特色や特産品を生かしたお菓子を考えさせ、その魅力が伝わるようなパッケージをデザインさせることで、創意工夫の大切さを理解させる。

生徒向けの目標：お菓子のパッケージを鑑賞し、商品企画からパッケージのデザインに至るまで、どのようなプロセスがあり、どのような創意工夫がなされているかを捉える。

【ClassPad.net 活用によるメリット】

- ・授業準備の時短／効率化：事前にリンクふせんやファイルふせんを用意することで、検索やプリント配布の手間なく授業時間を有効に活用することができる。
- ・個別最適学習の促進：カメラふせんで生徒の制作状況を記録しておくことで、個々のセンスやスキルに応じたフィードバックが可能になる。
- ・評価／評定を効率化：生徒の制作状況を記録したカメラふせんや、提出されたファイルふせんなどにより、端末一つで本授業時の生徒評価が可能になる。

授業の流れ

ClassPad.net での操作

step1

<今日の授業>

自分が暮らす地域限定のお菓子を考案し、パッケージをデザインしよう！
↓
今回は、実際にお菓子のパッケージを制作していきます！
アクリル絵の具の応用的な扱いについても学びます。

概要の説明

前回の授業内容を簡単に振り返り、今回は実際にお菓子のパッケージを制作していくことを伝える。

step2

【道具について・使用上の注意】

- ・必要な道具
アクリル絵の具、パケツ、ぞうきん、絵筆
マスキングテープ、パッケージ用の箱
- ・使用上の注意
アクリル絵の具が衣服につくと取れないので注意！

道具の説明・使用上の注意

お菓子のパッケージ制作に使用してもらう道具と、その使い方を紹介する。また、それらを使用する際に注意すべき点も伝えておく。

道具とその使い方、注意点などをテキストふせんにまとめておき、プロジェクターや電子黒板などを用いて提示する。

step3

【準備】

では、各自必要な道具を準備してください！
（パッケージ用の箱は、後で配布します。）
なお、前回授業時に作成したアイデアスケッチを、各自の端末に表示させておき、いつでも参照できるようにしておきましょう。
→2つのワークシートをスライドショー機能でつなげておくとう便利です！

準備指導

step2 で示した道具を準備させる。また、各自の端末に、前回の授業時に作成したワークシートを表示させておく。

前回授業時に作成した2つのファイルふせんによるワークシートをスライドショー機能でつなげておき、どちらもすぐに確認できるようにさせる。

step4

＜アクリル絵の具の特徴＞

- ・水に溶けるが、**乾くと固まって耐水性になる**。
- 筆やパレットの絵の具を放置すると取れなくなるので注意！
- ・**薄塗りから厚塗りまで幅広い表現**ができる。
- ・固着力が強く、**様々な素材に描ける**。

＜グラデーションのやり方＞
グラデーション：色を滑らかに変化させる技法。

- ・あらかじめ、**色味の違う2色を用意しておき、両端から別々の筆で塗っていく。最後に2色の間をぼかす**。
- ・アクリル絵の具は乾きやすいので、素早く行うのがコツ！

実技指導

アクリル絵の具の性質や混色の仕方、マスキングテープの使い方などを実演して見せる。時間に余裕がありそうなら、生徒に試してもらってもよい。

マスキングテープの使い方については、YouTube 動画「小学校図工技能解説-表現の幅を広げる技法「絵の具と使うマスキングテープ」[MaskingTapeArt]」

(https://youtu.be/_eqj__Sgkk)を見せてもよい。その場合は、事前にリンクふせんを用意しておき、授業支援機能で生徒に配布していつでも参照できるようにする。
教員が実演する場合は、その様子をカメラふせんで撮影させ、参照できるようにする。

step5

【パッケージ制作】

- ・配布されたパッケージ用の箱（台紙）を使って、制作を開始しましょう！
- ・道具を正しく丁寧に使ってください。
- ・**表現したいものに適した色や技法を駆使**しましょう！

制作指導

パッケージ制作用の台紙を配布する。そして、道具を正しく丁寧に使い、各自の表現したいものに適した色や技法を駆使するよう促して、作品を制作させる。

制作させている間、教員は教室（美術室）内を巡回し、全員の参考になりそうな工夫や制作物をカメラふせんの機能で撮影しておく。

step6

【進捗の確認】

- ・道具を片付けたら、出来たところまでの作品をカメラふせんの機能で撮影し、提出してください。
- ・本日の授業の振り返りシートを配布するので、そちらも提出しましょう。
- ・「進みが遅いな……」と感じる人は、自宅などで進めておいてもOKです！

進捗と次回の目標確認

道具を片付けさせた後、その日に出来たところまでの作品を撮影させ、提出してもらう。また、教員は振り返りシートを生徒に配布し、こちらも記入の上、提出してもらう。

Wordなどで作成した振り返りシートをファイルふせんにして、授業支援機能を用いて生徒に配布し、手描き機能で記載してもらう。
また、各自の作品を撮影させたカメラふせんと、振り返りシートのファイルふせんを、教員に課題として提出してもらう。

step7

ロゴデザインやパッケージデザインについて学べる動画を視聴して、パッケージ制作の参考にしてみましょう！

【出典】
アトオンとデザイン
洋菓子ブランドのロゴデザイン。パッケージデザイン。プロの仕事の進めかた。スイーツブランド、「山ノチーズ」ができるまで。

参考・補足

授業内で、全体の参考となるような工夫をしていた生徒がいた場合は、その様子を紹介する。ただし、次回授業で作品のプレゼンテーションをしてもらうため、どこまで詳細に扱うかについて配慮する。また、ロゴデザインやパッケージデザインについて学べる動画を紹介する。

step4においてカメラふせんの機能で撮影しておいた映像を、プロジェクターや電子黒板などを用いて見せる。
また、YouTube 動画「洋菓子ブランドのロゴデザイン。パッケージデザイン。プロの仕事の進めかた。スイーツブランド、「山ノチーズ」ができるまで。」の URL (<https://youtu.be/qK50EJPMTXk>) を貼り付けたリンクふせんを用意しておき、授業支援機能で生徒に配布して視聴を促す。